

教育長賞

題名 「10年後の津山のために」
学校名 津山市立久米中学校
学年 第2学年
氏名 江原朱音 (えばらあかね)

10年後の津山のために

10年後、私は24歳だ。私の将来の夢は、今住んでいる大好きな津山市で、高校、大学を卒業して、保育士として就職をし、第1歩を踏み出して輝いていたいと思うが、今の思いのまま津山で働いているのだろうか。そして、津山は今の津山と比べて、何か変わっているのだろうか。

私は、「10年後の津山」そして、「10年後の自分」を、じっくりと考えた事はなかったが、色々と考えてみると今から、ワクワクドキドキする。

私の10年後の津山への思いは、今よりも活気があって、津山の事を全国のたくさんの人に、もっともっと知ってもらうため、「津山といえはこね！」というものを、津山市全体の人々が協力してPR活動をしていかなければいけないと思う。今の津山には、「B11グラコプリにも出た」、「津山ホルモこうどん」、「毎年大勢の人が参加する」、「ごんごまつり」

桜がきれいな「鶴山公園」など、たくさんい
い物がある。でも、これからもっと、津山特
産の物で名物を作ったり、「ごんごまつり」
以外に老若男女そろって楽しめる事を増やし
たり、「鶴山公園」で楽しいイベントを考え
て、今の津山よりもっと活気のある津山にな
ればいいと思う。

そして、10年後の自分への思いは、津山を
愛し、保育士としてかわいい子供達のために
一生懸命働きたいと思うが、子供の人口が減
っている自分の夢である保育士が、実現でき
るのか不安はある。また、津山の活動で何か
できる事があつたら、自分からとんとんチャ
レンジしていこうと思う。

この作文をきっかけに、「10年後の津山」
そして、「10年後の自分」について、家族と
話す機会もあり、しつかり考えることができ
た。なかなかできない事なので、良かったと
思う。

10年後の津山は、今よりも津山に住んでい

る人が、安心、安全で暮らせれるような環境
で、たくさんの方々の笑顔と笑い声が咲き誇ってい
る津山市に住んでいたいと、私は願っている。